



松戸コンテンツ事業者連絡協議会が開発した スマートフォン向けのゲームアプリのリリースについて

1. ゲーム制作・発信の背景・目的

本市のコンテンツ産業振興事業は、松戸市総合戦略に基づき、国の地方創生交付金を活用し、コンテンツ事業者に対する支援施策の展開により、生産性の高い文化産業を形成することを目標としています。

コンテンツ産業の集積と需給両面からの振興に向けて、まずはコンテンツ産業＝松戸という認知を全国的に拡大するため、コンテンツ事業者やコンテンツ産業をこれから志す若い世代、またコンテンツのファンの方々に向けて、ゲームの創作・発信を通じて本市への関心を喚起することを狙っています。

ゲームコンテンツにした理由としましては、近年、スマートフォンの普及と共にオンラインゲームが大きく普及してきており、現状の市内コンテンツ事業者の状況や、コスト面を考慮し、第一弾に発信するコンテンツとしては、ゲームが相応しいと考え、昨年4月から開発を進めてきました。

2. 配信するゲームの概要

今般、松戸コンテンツ事業者連絡協議会が企画・制作するスマートフォン向けのゲームアプリ 2 作品を明日 5 月 31 日にリリースいたします。ゲームのタイプは異なりますが、ものづくりの楽しさを伝える内容は、共通しています。

ひとつは、株式会社ディッジが開発元となる「ビットゲームメーカー」です。昨年9月に開催された東京ゲームショウに出展し、プログラムなどの専門知識がなくても、スマホで簡単にオリジナルのゲーム制作を体験できる新感覚のユーザー参加型のゲームです。

もうひとつは、株式会社キッチンガイズファクトリーが開発元であり、昨年末にコミックマーケットに出展した「秋葉原まで 13 時間 ～姫はゲームを作りたいっ！～」です。松戸の高校に留学生として来た小国のお姫様が、同じ趣味の友人との出会いから『ゲーム制作』という未知の世界に足を踏み入れる物語を、画面の絵と文字を読み進めながら会話を進めていくノベルゲームです。

- 配信日：平成 29 年 5 月 31 日（水）（※正午頃）
- 対応 OS： iOS/ Andoroid
- 価格：無料（※ビットゲームメーカーは一部課金あり）



(1) ビットゲームメーカー概要

スマートフォンで、ゲーム素材を組み合わせることでビジュアルを創り出したり、独自のシナリオ・マップ・ゲームバランスを組み込んだりすることで、自分だけの「冒険」の世界を作り出すことができます。



□ゲームの特徴

ゲーム作成の初心者向けに「かんたん設定」や他のユーザーの作品を改変できる「アレンジ機能」などをご用意しており、上級者はパラメータやイベントなどの細部を作り込むこともできます。また、キャラクターやアイコンなどのゲーム素材を 1000 以上用意しております。

日本のゲームクリエイターを支援するため、法人・個人問わず、20 名以上のクリエイターの方にゲーム素材をご提供頂いております。

□ゲームの流れ

ゲームを作る

- 基本設定・・・タイトルや用語や UI（ユーザーインターフェイス）やシステムをカスタマイズ。
- データ作成・・・ゲームに登場するキャラクターやアイテムを作成。
- マップ作成・・・タイルを配置して冒険の舞台となるマップを作成。
- イベント作成・・・作成したマップにゲーム中のイベント（例）姫が連れられる→救出に行く）を配置。

ゲームを公開

作成したゲームを公開します。公開後に内容の変更も





できます。

世界中に公開することも仲間内だけでシェアすることも可能です。

ゲームを探す

他のユーザーが投稿したゲームを探して遊ぶことができます。

また、気に入ったゲームがあれば、自分のゲーム作品のベースとして使うこともできます。

素材を探す

ゲームに使用するキャラクターやマップなどのグラフィック素材を追加ダウンロードできます。リリース後も順次ゲーム素材を追加予定です。



現状、『予約トップ10』というゲームアプリの予約サイトでの予約数は1万件を超えています。



(2) 秋葉原まで13時間 ～姫はゲームを作りたいっ！～完全版

□概要

松戸の高校に留学生として来た小国のお姫様が、同じ趣味の友人との出会いから『ゲーム制作』という未知の世界に足を踏み入れる物語です。素人が集まって始まったこのプロジェクト、果たしてどうなる——！？ 努力・苦労・失敗・挫折、そして完成。 創作活動の喜怒哀楽を詰め込んだ作品が始まります。





□キャラクター

岩瀬菊乃



物語の主人公。常識人。真面目な性格で頼りがいがあり、クラス委員を任せられている。真面目さと責任感を買われてルイーゼの世話役を仰せつかる。『素人が集まってゲーム作るなんて無理！』と思っているがルイーゼの希望をかなえてやりたい気持ちもあり、しぶしぶ協力することに。いわゆるオタク文化に対しては知識がほぼない状態。

ルイーゼ・オタカール・フォン・カスタニエンベルク



異国からやってきたお姫様。背は低いがお姫様らしい言動、ふるまいをしっかりと身に着けたレディ。正しいことは正しい、悪いことは悪いという真っ直ぐな性格。日本の漫画やアニメ、ゲームに強い興味を抱いており、自分でイラストを描いたりもする。オタクカルチャーの本場・日本に来られただけで満足だったのだが、理沙との出会いによって夢が大きく膨らんでしまう。



樋野口理沙



菊乃の幼馴染。性格はぐうたら、授業よりも同人活動に精を出すなど、菊乃とはいろいろと正反対。『ゲーム？ 簡単なものなら作れないこともないんじゃない？』とお気楽に言いルイーゼの気持ちに火を付けた張本人。メンバー唯一の同人経験者として、その経験と知識でチームを支える。

エーリケ・フェイルシュニット



ルイーゼの従者。ルイーゼの身の回りの世話をするため、一緒に来日した。オタクの知識は皆無だが、姫の希望の実現のためならどんな努力も惜しまない。

3. ダウンロード先

(1) ビットゲームメーカー

<App Store ダウンロードページ>

<https://itunes.apple.com/jp/app/ビットゲームメーカー/id1166061353?l=ja&ls=1&mt=8>

<Google Play ダウンロードページ>

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.dh3d.bitgamemaker>



(2) 秋葉原まで 13 時間

<App Store ダウンロードページ>

[https://itunes.apple.com/us/app/秋葉原まで 13 時間/id1234835511?l=ja&ls=1&mt=8](https://itunes.apple.com/us/app/秋葉原まで13時間/id1234835511?l=ja&ls=1&mt=8)

<Google Play ダウンロードページ>

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.matsudocontent.akiba13>

4. 松戸コンテンツ事業者連絡協議会

松戸コンテンツ事業者連絡協議会は、松戸市のコンテンツ産業の振興を目的に市内コンテンツ事業者を中心に設立されたネットワーク組織です。平成 28 年 3 月に設立し、平成 29 年 5 月現在、25 事業者が参画しています。

同協議会ではコンテンツ産業関係者やファンに対して、ゲームコンテンツとともに、本取り組みを広く発信していきます。また、松戸の技術力を発信することで、コンテンツ産業関係者の興味や関心を喚起したいと考えています。

■役員

- 会長 株式会社ディッジ 柳 明宏
- 副会長 株式会社キッチンガイズファクトリー 竹内 博
- 監事 さっぽろももこ

■事務局

- 松戸市経済振興部文化観光国際課

5. 今後の展開

- ゲームの知的財産権 (IP) を活用したマッチング (随時 : 例) 啓発ポスター、商品開発等)
- 東京ゲームショウ 2017 (9 月)・コミックマーケット出展 (8 月、12 月)
- 夏休みゲーム教室 (7 月下旬予定)
- 小中学生ゲームコンテスト (夏休み期間中予定)
- 海外展開 (秋頃予定)

【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課

☎ 0 4 7 - 3 6 6 - 7 3 2 7